

### 設問1

〇〇教室として集団で患者教育を行う場面で、医療者側の心構えや態度として誤っているのはどれか、一つ選べ。

A1	特に院外で行う教室の場合などには、参加者の急変に対しての準備も必要である。
A2	教室ではたくさんの内容を盛り込みすぎないように注意する。
A3	医療者は教育する側、患者は教育される側という、上下関係を意識して話をする。
A4	専門用語はさげ、わかりやすい言葉とスピードで話をする必要がある。
A5	患者同士の話し合いもピアカウンセリングを促す意味で効果的な場合がある。

**正解** A3

患者と医療者に上下関係など存在しない

### 設問2

患者：「禁煙したいと思っているが、つつい吸ってしまって……。」  
肺疾患患者に禁煙をしてほしい面談場面で誤っているフレーズはどれか、一つ選べ。

A1	このままでは在宅酸素が必要になるとわかっている喫煙を続けるのですね？
A2	禁煙しようと思う一方で、喫煙したくなる自分もいるのですね。
A3	今は禁煙する気にならないのですね。
A4	禁煙したいとは思っているのですね。
A5	つつい吸ってしまうのですね。

**正解** A1

1は間違い指摘で行動変容をブロックすることにつながる。2、3は聞き返し(要約)、4はリフレーミングで、5はオウム返しで患者のことを理解していると伝えることに繋がる。

### 設問3

患者面接の場面で正しいのはどれか、一つ選べ。

A1	肥満の人は〇〇な人が多いという決めつけた上で関わる。
A2	患者の話は遮り、聞きたい話題にすぐうつる。
A3	面接を情報収集と捉え質問ばかりする。
A4	質問は閉じた質問と開かれた質問を使い分ける必要がある。
A5	患者の協力なしに課題を解決しようとする。

**正解** A4

イエス、ノーで答えられる閉じた質問では、明確な答えが短時間で聞けるメリットがあるが、ネガティブなインパクトが強くなる傾向があり、患者は詰問されているように感じる。逆に開かれた質問では、答えが限定されずに話を膨らませやすく患者の気持ちを引き出しやすい。

**設問4**

栄養指導場面において誤っているのはどれか、一つ選べ。

A1	患者の嗜好品についても聞き取りを行う。
A2	「あなたの場合こうしたほうが体に良い」というメリットを中心に伝える。
A3	自宅で料理をする方に同席してもらうことは効果的である。
A4	実際に自宅で料理実習は調理道具の確認、動線の確認ができるなど効果的である。
A5	患者の現在の取り組み状況は聞く必要がない。

**正解** A5

患者さんの現在の取り組み状況をよく把握し、実行できていることを承認し、必要であれば+アルファの指導を行う事は効果的である。

**設問5**

二次予防の組合せで正しいのはどれか、一つ選べ。

A1	健常成人一禁煙指導
A2	脂質異常症患者一栄養指導
A3	回復期の脳血管疾患患者一服薬指導
A4	急性期の脳血管疾患患者一血圧管理
A5	生活期の脳血管疾患患者一運動指導

**正解** A2

1は一次予防、3、4、5は三次予防。